④ これからのまちづくりに求められること

	主な項目	今後の方向
人口	人口の減少	南区の有する特長を保全・育成し、居住魅力を向上させ、その情報を発信することで人口の誘導を図ります。
	人口の高齢化	道路等の公共施設や公的住宅のバリアフリー*1化などひとにやさしいまちづくりを進めるとともに、高齢者が集える場所や生き甲斐づくりに取り組む必要があります。また、生活支援のための地域コミュニティの醸成を図ります。
	子育て世代、若年層の減少	まちににぎわいと活気を取り戻して若い人が魅力を感じ、安心して子どもを育てられるまちづくりをすすめます。
土地利用	市街化調整区域の土地利用	市街化調整区域の持つ緑・自然環境、農空間の保全と、地域の住環境を守るために、住民と行政が一緒に地域のあり方を考え、有効な土地利用が図れる仕組みを検討します。
	戸建て住宅の敷地の細分化	泉北ニュータウンは、最初のまち開きから41年が経過し、現在では土地の流動化が大きくなっています。良好な住環境を保全していくための住民によるまちづくりの合意形成を支援します。

＊1　バリアフリー：身体に障害のある人や高齢者が生活する上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味。